

スーパーのレジの熟女と出会って即セックス。ベッドの上は子供がはしゃぎ飛び跳ねているかのように、大人二人の男女の激しいセックスで揺れる

自炊に使う野菜と大好きなコーヒーゼリーを買いにスーパーへやってきたアツシ。午前、開店直後の店内は主に地元の客たちで賑わっていた。

入口の自動ドアを過ぎて左手にパン屋が内設してある。

朝のコーヒーを、とアツシはホットを注文した。買う物を買ってレジカゴへ入れ、レジへ向かう。

財布に札がなかったので、アツシは小銭だけで支払いをしなければならなかった。

カゴをレジへ出してそのまま前へ進む。

白いレジのお金の置き皿にお金を出す際、手を滑らせてしまい、小銭の半分ほどを床へ落してしまった。

小銭は音を立ててレジスペースの中へと転がり落ちていった。

「キャッツ！！」

レジの熟女が声をあげ、すぐさま腰をかがめる。

「拾いますからっ！！」

まばらに落ちた小銭数個を拾おうとアツシに背を向ける格好になった。

ニュッ！！と丈が膝の少し上まであるスーパーのレジ系の制服のボトムスの布が伸びてムチッとしたお尻がアツシに向けられる。

アツシはレジの台越しにそれを触ってみた。

掌に肉感的感触が充満する。指を伸ばし更に深くわしづかみに。

「拾っていただいて、あ、ありがとうございます」

すると熟女も・・・。

「こちらこそ・・・私のむっちむちのお尻触っていただいて・・・嬉しい
ですありがとうございますっ」

すっと小銭を手に取りアツシの方を振り向いて少し会釈をした。

丁度ほかの並び客はいない時。少しそのまま話していると、すぐ近くに住んで
いると熟女はアツシに伝えた。

もちろんセックスすることは当然の流れだった。

近くどころかすぐ隣だという。

体験版はここまでです。
